

集材機研修における参加者からの声

平成 26 年度から令和 2 年度に実施した集材機研修において、受講生や講師等から感想・意見をいただいておりますので、参考にしてください。

【受講生からの声】

- ・ 基本的な知識で、忘れていた内容（法令等）もあったので良い復習になった。
- ・ 今後、自分で考えて索張りをすることが楽しみに感じられるような研修であった。
- ・ スリングと台付ロープの違いがよく分かり、半差しの方法を正確に覚えることができた。
- ・ 安全性や生産性を考えた作業計画・架線計画の必要性と、作業員への周知の大切さが改めてよくわかった。
- ・ 現場での踏査の大切さを改めて感じた。作業前の準備等の重要性、基本の大切さ等を学ぶことができ、基本を学ぶことによって応用もでき、より安全性の確保につながるなど、多くを学ぶことができた。
- ・ 勘と経験だけで索張りする時代は終わっていると痛感した。これからは設計計算に取り組みたいと思った。
- ・ サドルブロック等の取付け作業は、普段から「まあ、こんなもんだろう」ではなく、しっかりと正しい作業方法で行わないといけないと思った。
- ・ 安全作業についての認識や効率の良い作業方法など、他所の会社の人と情報交換ができた。

【講師からの声】

- ・ 架線経験が少ない受講生が多かったため、実習に時間がかかったが、受講生にとっては良い経験になったと思う。
- ・ 架線集材現場の見学は、良い所、悪い所と見る所がいろいろとあったので、受講生にとっては良い勉強になったと思われる。
- ・ 次世代に技術を伝えて行くためには大変参考になる研修と感じた。
- ・ ポイントを絞っての内容だったので、大切な事を覚えてもらえたと思う。
- ・ 事故は絶対に起こさないために、安全についての考え方をしっかり伝えていきたい。

【都道府県担当者からの声】

- ・ 林業架線作業主任者の資格を持ちながら実務経験が少ない受講者にとって、免許内容を思い出す有意義な研修となった。
- ・ 内容の濃い研修であり、今後現場で作業する際に学んだことを活かして欲しい。
- ・ パソコンの画面をプロジェクターで投影しながら実習（架線計画や設計計算等）を進めて、その都度、講師からのアドバイスを受けるといった流れにより、受講生の理解度が上がった。
- ・ 少人数であるため、受講生同士で積極的に教え合い、自分の知識として持ち帰ったと思う。
- ・ 事前の打合せがしっかりでき、研修の準備等がスムーズにできた。